

# インタラクティブスクリーンスタンド (BSIT) 組立説明書

この度は、弊社製品をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。

- この説明書は、製品の組立て方、使い方、使用上の注意事項について記載してあります。
- ご使用前に必ず、この説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- また製品を末永くご使用いただくために、この説明書は大切に保管してください。

## 組立てをはじめる前に

- 組立てるまえに必ず、構成部品一覧/ビスパッカー一覧、完成図をご覧になり、内容物をご確認ください。
- 組立作業をする場合は、カーペットの上か、毛布などを敷いた所で、床や製品を傷つけないようにご注意ください。
- 組立にあたっては、プラスドライバー（中型）をご用意ください。

※最後に安全上の注意を必ずお読みください。

※設置及び組立の不備、または天災による事故・損傷について当社は一切責任を負いません。

### 【共通部材】

品番	品名	数量	外観図
1	スタンド本体ボディ	1	寸法図参照
2	キャスターベース	2	
3	プロジェクター取付アーム	1	
4	支柱セット	1	
5	アウトリガー (左・右)	各1	
6	キャスターベース取付金具	2	
7	アウトリガー取付ボルト	各1	
8	アウトリガー取付補助金具	各1	
9	ノブナット	2	
10	樹脂ワッシャー	2	

### 【ホワイトボードスクリーン専用】

品番	品名	数量	外観図
11	六角穴付ボルト (M8×75)	4	
12	スプリングワッシャー (M8)	4	
13	六角穴付低頭ボルト (M6×15)	4	
14	トラス小ネジ (M6×15)	4	
15	スプリングワッシャー (M6)	4	
16	トラス小ネジ (M4×18)	3	
17	平ワッシャー (M4)	3	
18	M8用六角レンチ	1	
19	M6用六角レンチ	1	

### 【LPスクリーン専用】

品番	品名	数量	外観図
20	ホワイトボードスクリーン取付アングル	2	寸法図参照
21	ホワイトボードスクリーン	1	
22	トラス小ネジ (M6×20)	6	
23	スプリングワッシャー (M6)	6	
24	ペントレー	1	
25	マーカー (黒・赤)	各1	
26	イレーサー	1	
27	LPスクリーン取付アングル	2	寸法図参照
28	LPスクリーン	1	
29	ナット (M6用)	4	
30	樹脂ワッシャー	4	
31	工具 スパナ	1	

### 完成図



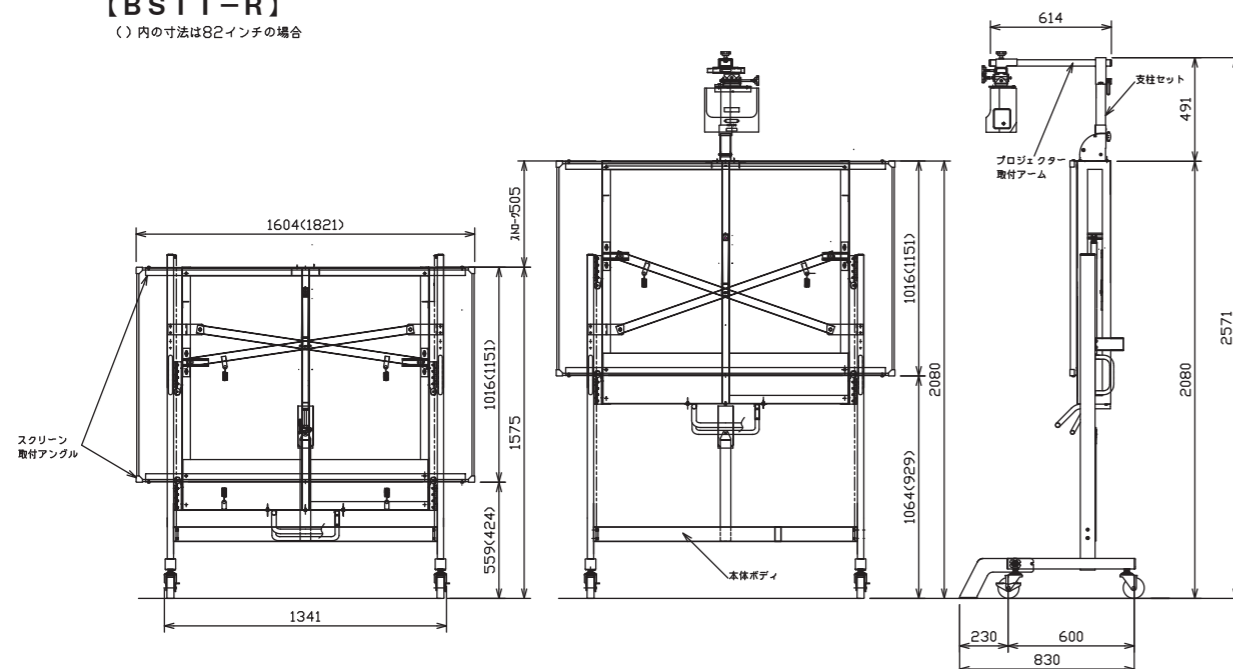
【BSIT-R】

【BSIT-STR】

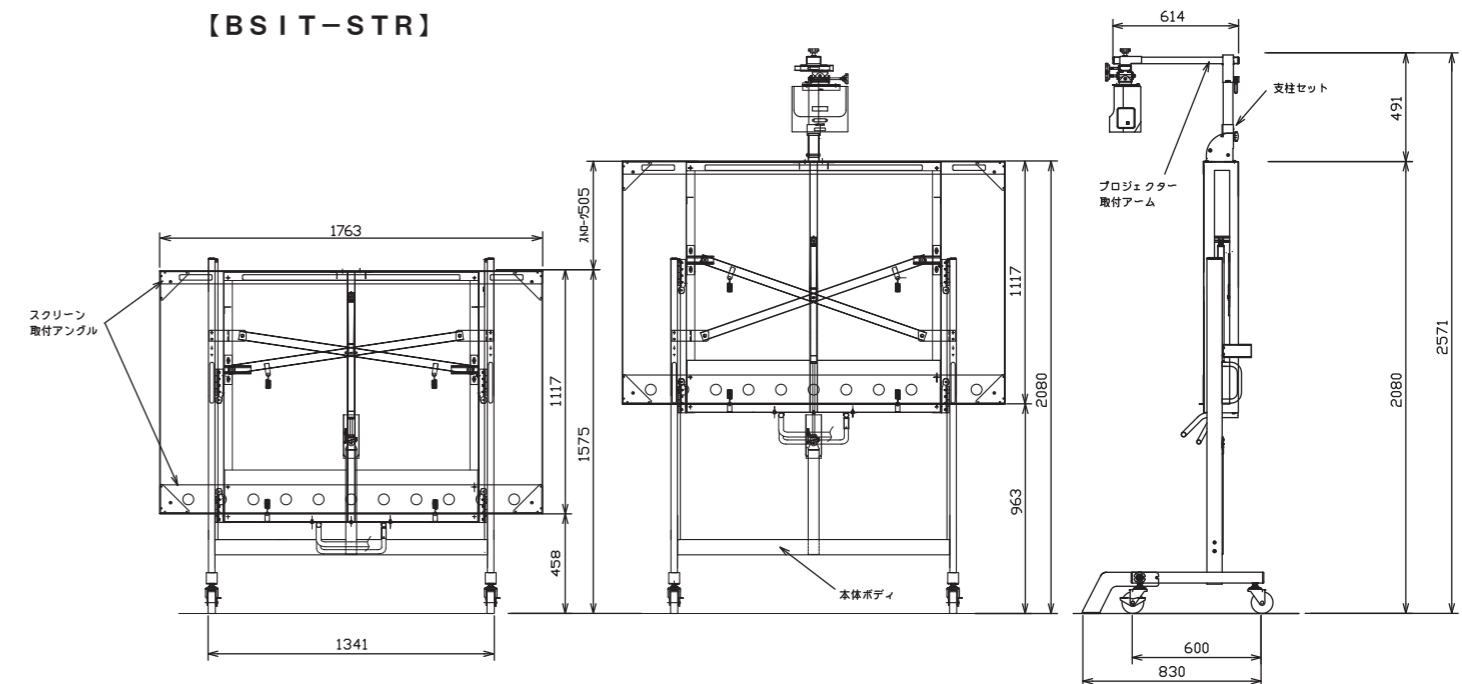
### 寸法図

#### 【BSIT-R】

( ) 内の寸法は82インチの場合



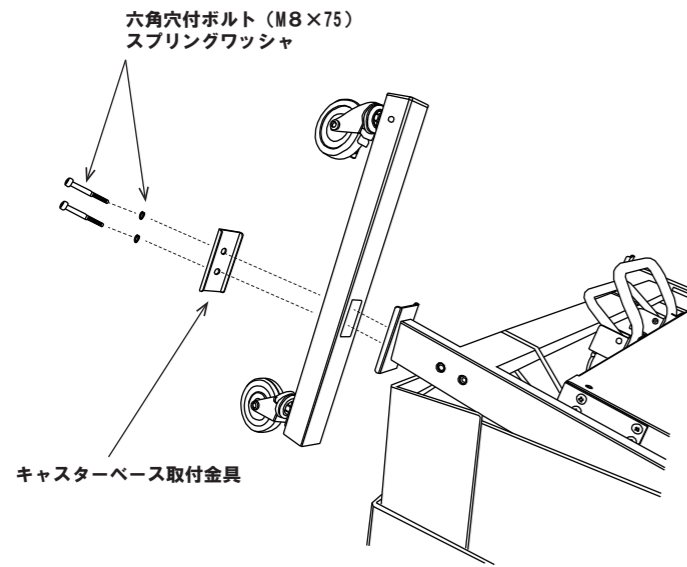
#### 【BSIT-STR】



[ 本体質量 ] 約 70.0 kg

(スクリーン・プロジェクターは含みません。)

### 1 キャスタースタンドの取付

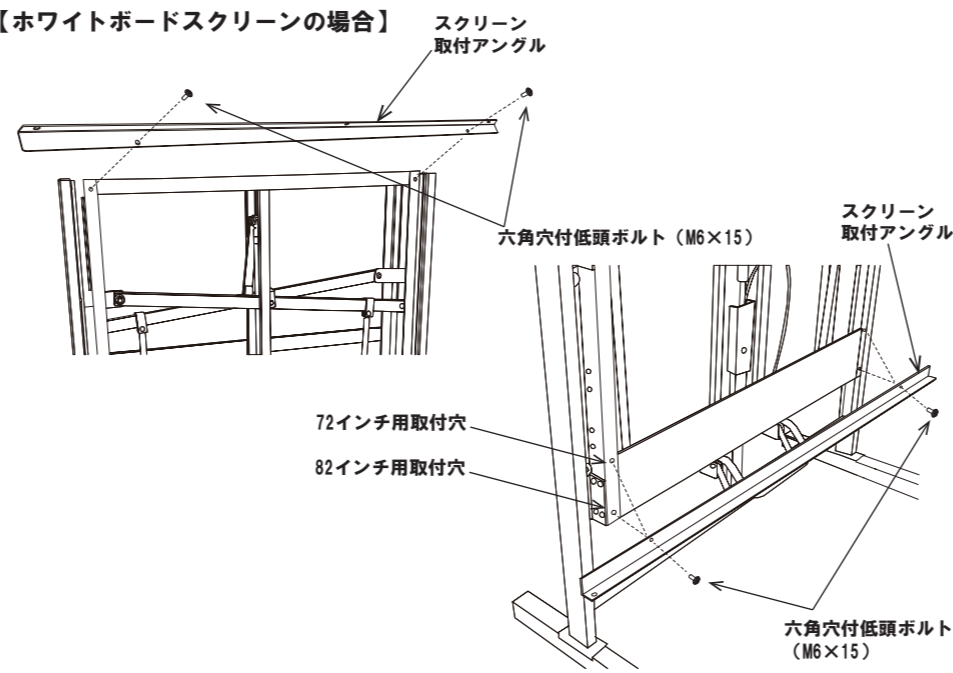


梱包を『前面』と書かれた側が上になるように寝かせた状態で開梱します。開梱したら、本体ボディにくくりつけてあるスクリーン取付アングルを取出し、本体の下部（ハンドルがある側）が梱包箱にかかるように引出します。キャスターベース取付金具をM8ボルト、スプリングワッシャをM8用六角レンチを使用し本体に固定します。この時キャスターベースの穴が空いてる方を前側になるように取付ます。

左右のキャスターベースをしっかりと固定できたら本体を起こして立てます。

### 2 スクリーン取付アングルの取付

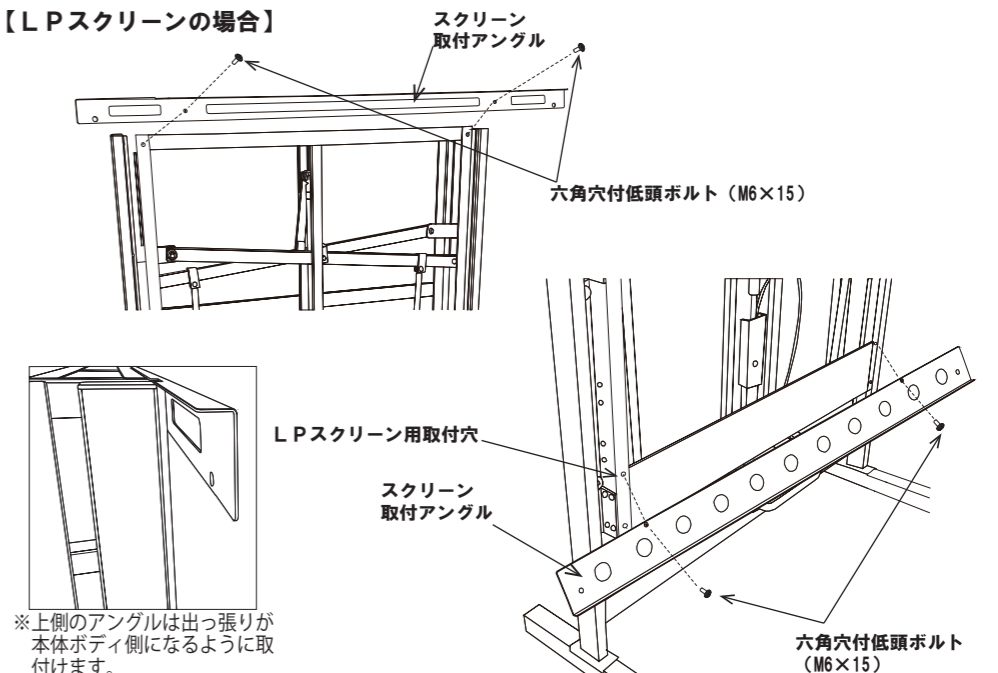
【ホワイトボードスクリーンの場合】



スクリーン取付アングルを2箇所穴が空いている面が本体側になるように確認し、付属のM6用六角レンチを使用して六角穴付低頭ボルトで固定します。

下側のアングルを固定する際は取付けるスクリーンサイズに応じて穴位置を選択してください。  
(72インチのスクリーンを使用する場合は上段、82インチのスクリーンを使用する場合は下段の取り付け穴を選択します。)

【LPスクリーンの場合】

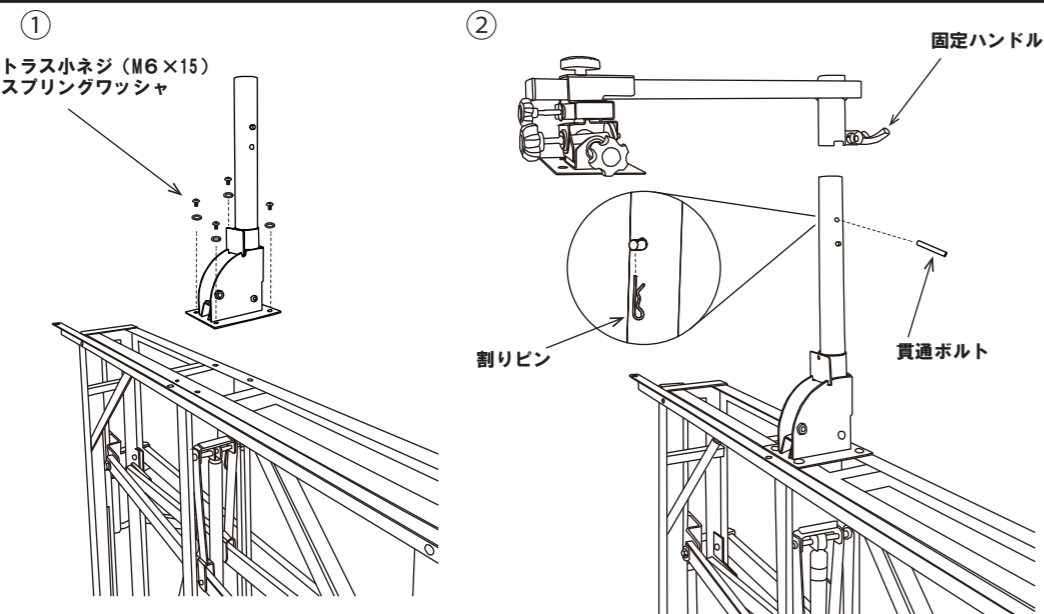


※上側のアングルは出っ張りが本体ボディ側になるように取付けます。

LPスクリーン取付アングルを2箇所穴が空いている面が本体側になるように確認し、付属のM6用六角レンチを使用して六角穴付低頭ボルトで固定します。

下側のアングルを固定する際は上段のLPスクリーン用取り付け穴をご使用ください。

### 3 プロジェクター取付アームの取付

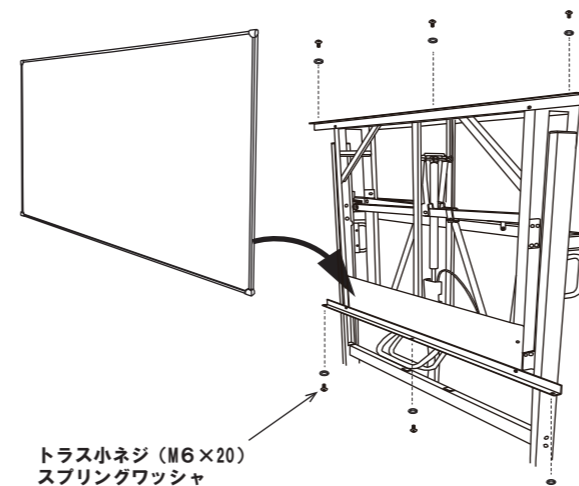


①アームの支柱をトラス小ネジ（M6×15）、スプリングワッシャを使用し本体上部へ取付けます。支柱セットが本体上部にしっかりと固定できたら付属の貫通ボルトを支柱上部の穴に差込みます。  
(この時、スクリーンサイズが72インチの場合は下の穴、82インチの場合は上の穴を使用してください。)  
貫通ボルトを差込んだら先端に抜け止めの割リピンを取付けます。

②支柱上部からプロジェクター取付アームを貫通ボルトに掛かるところまで降ろします。  
貫通ボルトのところまで降ろしたら固定ハンドルを回して締め付けて下さい。最後にハンドルを支柱に沿わずよう倒します。

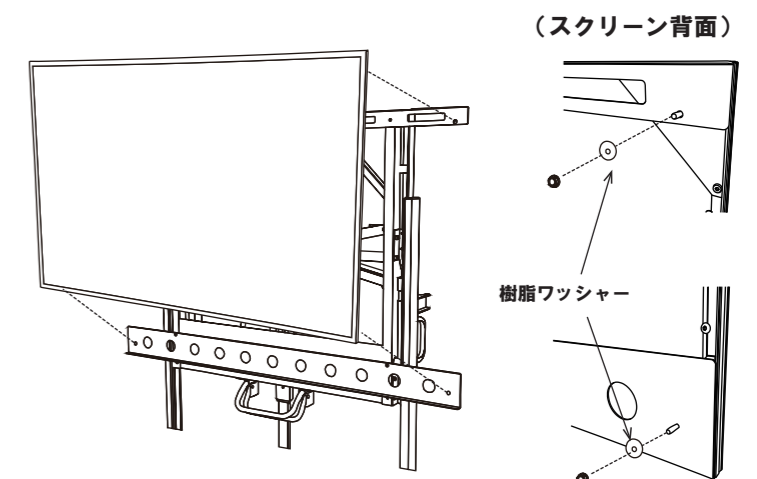
### 4 スクリーンの取付

【ホワイトボードスクリーンの場合】



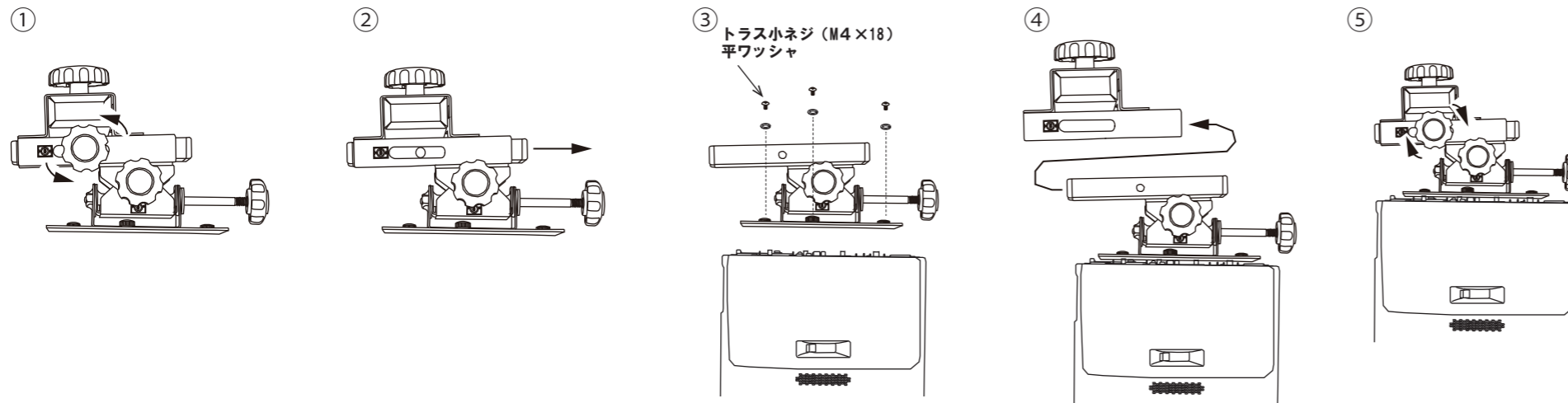
【2】で取付けたスクリーン取付アングルにホワイトボードスクリーンを乗せます。ホワイトボードスクリーンの上下にあるネジ穴とスクリーン取付アングルにある3箇所の穴位置を合わせます。位置があっていることを確認したらトラス小ネジ（M6×20）、スプリングワッシャを使用して固定します。

【LPスクリーンの場合】



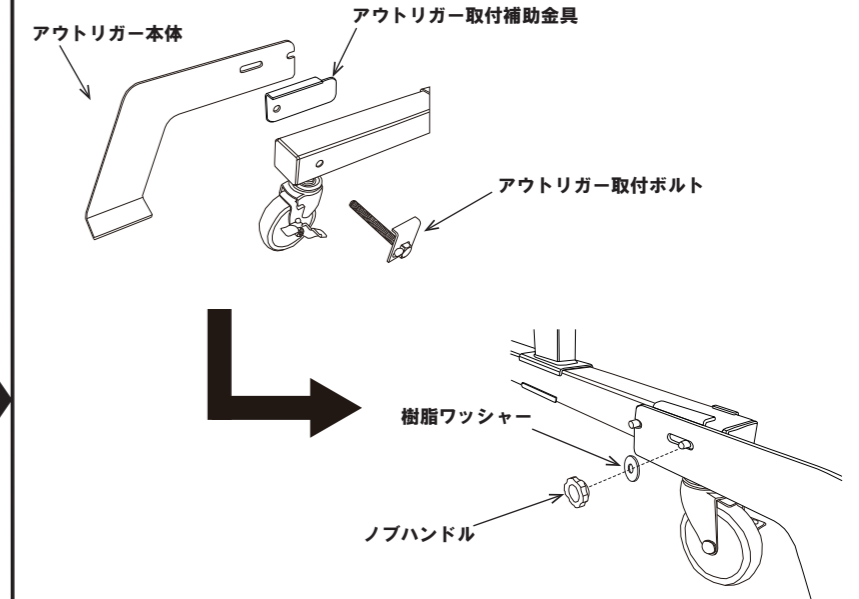
【2】で取付けたLPスクリーン取付アングルにLPスクリーンを乗せます。スクリーン背面の四隅にあるボルトをスクリーン取付アングルの両端にある穴に通します。4箇所全てのボルトが貫通していることを確認したら樹脂ワッシャー、ナットを使用して固定します。

## 5 プロジェクターの取付



- ① プロジェクター取付アームの先端についているプロジェクター取付金具を前方に引出し【B】のハンドルを緩めて取り外します。
- ② プロジェクター取付金具の下側の金具をスライドして取り外します。
- ③ 取外したプロジェクター取付金具をトラス小ネジ (M4×18)、平ワッシャを使用し、プロジェクター本体に固定します。
- ④ プロジェクターを取付けた金具をプロジェクター取付アームの元の位置に戻し取付けます。
- ⑤ プロジェクター取付金具の【B】のハンドルを取付け、締め付けます。

## 6 アウトリガーの取付

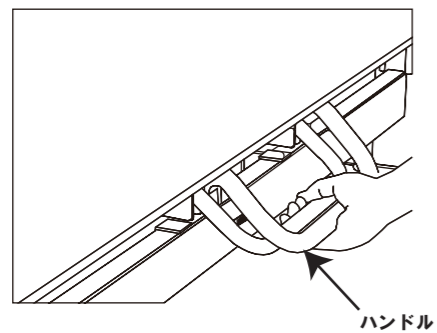


本体の内側からアウトリガー取付ボルトを差込みます。反対側からアウトリガー取付補助金具、アウトリガー本体の順にボルトに取付けます。最後に、樹脂ワッシャー、ノブハンドルで締め付けます。

最後に本体ボディに固定しているPPバンドを外し取り除きます。

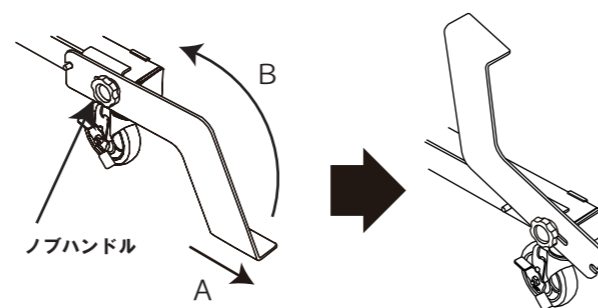
## 各種操作方法

### 1 スクリーンボード高さ調整方法



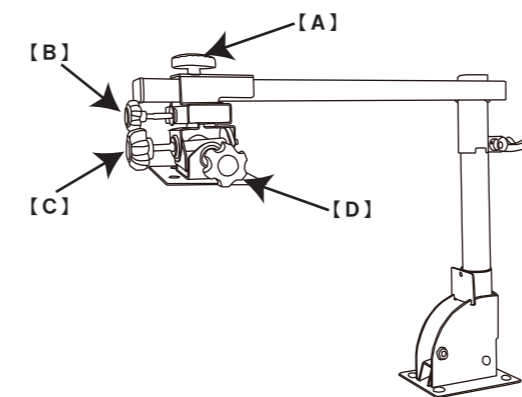
ホワイトボードの下にある2つのハンドルを同時に握ることで高さを任意の高さで調節することができます。高くする場合はハンドルを握ったまま上方向にスライドしてください。低くする場合はハンドルを握ったまま下方向にスライドしてください。

### 2 アウトリガーの操作方法



スタンドを移動させる場合はアウトリガーの外側にあるノブハンドルを緩めます。『A』の方向にスライドさせてから『B』の方向に回転させてアウトリガーを上げます。最後にアウトリガーが動かないようにノブハンドルを締めます。スタンドを設置させる場合は上記の操作が逆になります。

### 3 プロジェクターの高さ・角度 調整方法

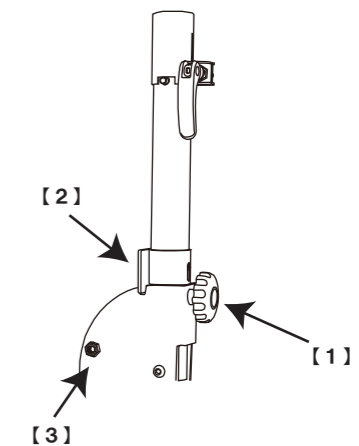


支柱上部にある貫通ボルトの高さを変更することでプロジェクターの高さを調整します。(高さ調節は2段階)

取付金具には【A】～【D】のノブハンドルが付いており、それぞれのノブハンドルを緩めることで設置位置とプロジェクターの角度を調整します。

- 【A】：前後方向の位置調整
- 【B】：左右方向の位置調整
- 【C】：水平方向の角度調整
- 【D】：垂直方向の角度調整

### 4 プロジェクター取付アーム折りたたみ方法





スタンドを移動させる時などはプロジェクターアームを折りたたんで全体の高さを低くすることができます。

プロジェクター取付アームの支柱背面にある【1】のノブハンドルをゆるめて取り外します。【2】のストッパーを持ち上げて溝から外すことで支柱が前方に倒れます。取外したハンドルは【3】の位置に取付けてください。



# 安全のために必ず守ること

●この取扱説明書で使用している表示と意味は次のようになっています。




	<b>警告</b>	表示の内容を無視して誤った使い方をしたときに「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容
	<b>注意</b>	表示の内容を無視して誤った使い方をしたときに「傷害を負う可能性または物理的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容

●図記号の意味は次のとおりです。

	絶対におこなわないでください。		必ず指示に従って、おこなってください。
--	-----------------	---	---------------------





●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しくお使いください。

## 警告





- お客様自身で商品の改造は絶対に行わないでください。  
→変形や破損、転倒などを引き起こす原因になります。 
- 設置後、移動後は必ずキャスターのストッパーをロック位置にしてください。  
→誤った設置や調整は、転倒してけがの原因になります。 
- フラットディスプレイの取付以外のご使用は絶対になさらないでください 

## 注意



設置するとき

- 設置作業は必ず2人以上で行って下さい。  
→重量物が落下して怪我の原因になります。 
- 床に傾斜や段差のある不安定な場所には設置しないでください。  
→転倒してけがをする恐れがあります。 
- 屋外での使用や水漏れを避けてください。  
→さび・変色の原因となります。 
- ボルトやネジ類は所定の場所に確実に締め付けてください。  
→TVが落下してけがの原因になります。 

使用するとき

- 乱暴な扱いや用途以外のご使用はしないでください。  
→けがや故障、破損の原因になります。 
- 記載されている耐荷重以上は乗せないでください。  
→商品が破損したり、転倒でけがをする恐れがあります。 
- 商品の上に足を掛けたり、腰掛けたりしないでください。又、小さいお子様が近くで遊ばないように注意してください →商品が破損したり、転倒でけがをする恐れがあります 
- 使用中にネジの緩みによるガタツキが生じた場合は締め直してください。締め直してもガタツキが直らない場合は使用を中止してください。→そのまま使用しますと、変形や転倒を起こす原因になります。 

移動させるとき

- 商品を移動させるときは、転倒防止のため2名以上で操作してください。  
→1名は本体を操作、もう1名は安全確認をした後、移動させてください。 
- 移動する際に段差のある所や、ジュウタン等柔らかい所を通過する場合は十分にご注意ください。  
→転倒してけがをする恐れがあります。 

## アフターサービス

●この説明書には保証書が付属しています。保証期間はご購入日より1年間を保証期間とさせていただきます。保証期間中の修理は以下の保証規定に基づいて修理させていただきます。また保証期間の経過後でも、修理により機能が維持できる場合はご要望により有料にて修理させていただきます。

## 保証規定

- 保証期間内に取扱説明書にしたがった正常な状態で故障した場合には無料修理をさせていただきます。
- 保証期間内に修理の必要が生じた場合には製品と保証書（取扱説明書）をご確認のうえ、販売店、または弊社修理窓口までご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
  - 保証書にお買い上げ日の年月日、お客様名、お買い上げの販売店名の記入がない場合、及び本書の字句を故意に書き換えた場合。
  - 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異による故障及び損傷。
  - 使用の誤り、乱用、改造等による故障及び損傷。
  - その他、弊社の責に帰し得ない事由により生じた故障や損傷。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan

## 保証書

品名	インタラクティブスタンド	型式	BSIT
お客様	お名前	様	
	ご住所	〒 —	
	ご連絡先	—	
販売店	お買い上げ日	年	月 日
	保証期間	お買い上げ日より1年間	
	店名・住所・電話番号		

●この製品を第三者に譲渡する場合は、この説明書も共に譲渡し、よく読んでから使用するようご注意ください。

※改良のため、仕様及び外観は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

### お手入れの仕方

- ・通常のお手入れとして、時々乾いた柔らかい布で、から拭きしてください。汚れがついたときは5～6倍に薄めた中性洗剤でふき取り、水拭きした後、乾いた布で、から拭きしてください。ベンジンやシンナー系溶剤で拭いたり、ぬれたまま放置しないでください。サビや変色の原因になります。

裏面もよくお読みください。  
組立て方などを記載しております。

 **株式会社 ケイアイシー**  
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-28-11  
TEL. 03-3357-4839(代)  
<http://www.kic-corp.co.jp>

取説No. 160831

MADE IN JAPAN